



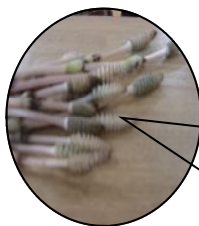
往還通信



春のおとずれ

めっきり暖かくなり往還の花壇にもチュウリップや梅の花が咲き春の気配が感じられる様になりました。天気の良い日には、外に出られて散歩される姿が見られつくしが生えていたと摘んできたつくしをみせてもらい、にっこりとしたご様子も見られるようになりました。そろそろ桜も咲き始め各地でお花見に大勢の人が行かれる事でしょうね。今月は、ユニットごとで計画をたてお弁当を持って花見見物に行く計画をしています。

往還の庭先で咲いた春の花々



散歩に行かれ摘んでこられたつくしを見せていただきました。

クラブ風景

春にちなんだ文字を書いています。



書道クラブ

春の小川
立春
入学
菜の花など

どんな文字を書こうかな

お花クラブ

盛花と生花どれも春らしい花ばかり



盛花・生花の2種類から選らんで生けていただきました。



作品

4月の施設行事

- 8日(火) 音楽療法
- 9日(水) 音楽療法
- 19日(土) ゴスペルコンサート

4月のクラブ活動

- 2日(水) 太極拳
- 3日(木) 書道クラブ
- 17日(木) 書道クラブ
- 25日(金) お花クラブ

5月の行事予定

- 1日・15日 書道クラブ
- 9日 太極拳
- 30日 お花クラブ
- 28日(金) 手品

5月もクラブ活動の他マジックショーなど行事も盛りだくさんです。

朝日町感謝祭にて



朝日町感謝祭にいかれました。いろんなバザーも開かれたたくさんの方で大にぎわいでした。



中国気功法 太極拳・八段錦



調身(姿勢を整える)
調息(呼吸を整える)
調心(神経のバランス)
と言った未病長寿のための健康体操です。皆さんも手足を動かして。さあ~ひとがんばり!

めっきり暖かくなりユニットごとで往還の庭を散歩される姿がみられる様になりました。



カメラに向かってはい!にっこり

医務だより



後期高齢者医療制度について



4月1日から新しく後期高齢者医療制度（名前が悪いとのことで長寿医療制度に変更されるようですが）が導入されました。厚生労働省が用意したリーフレットが全世帯に配布されているはずですが、要約すると以下のような5つのポイントになります。

1. 75歳の誕生日から、今までの保険に関係なく全員が後期高齢者医療保険に加入する。
2. 今までで保険料負担がなかった扶養家族の人も、2008年4月から保険料を負担する。保険料は年金から天引きされる。
3. 厚労省は「高齢者にふさわしい医療」というが、75歳以上を「差別した医療内容」となる。
4. 「医療と介護の一体的なサービス提供」というが、「医療が介護に吸収」される。
5. 国民健康保険は市町村が保険者だったが、この制度では都道府県単位の広域連合が保険者となる。

今までの医療制度を75歳の誕生日を境に、高齢者にふさわしい医療という言葉で丸め込んでしまおうという意図がみえます。具体的にはできるだけ病院には入院しないで在宅での治療を奨めるために、訪問看護や介護サービスを強化するとしています。また外来医療に関しては複数の慢性的な疾病（糖尿病、高脂血症、高血圧、認知症、結核、甲状腺疾患、不整脈、心不全、脳血管障害、喘息、気管支拡張症、胃潰瘍、アルコール性慢性肝炎）をもつ後期高齢者はそれぞれの医療機関ではなくて一医療機関に任せてしまい継続的に管理してもらいましょうとしています。亡くなるときにも終末期医療をできるだけ在宅でという方向が示されています。

医療の制度が変われば、医療側はそれに合わせなくてはなりません。飛躍的に医療は進みましたがそれでも病気の治療は不確実です。結果だけで判断されれば医療行為は不満だらけになります。今までと違うと不満を持たれる方も増えると思います。この後期高齢者医療制度で、今後在宅や特養などでの医療行為はますます増えてきますが、結果は不確実な物だということも理解していただきたいと思います。医療は患者さんとスタッフの信頼関係です、信頼されていないとスタッフの熱意は失せてしまうのです。感じる事があればいつでもスタッフに声をかけていただき、長寿であることを喜べる往還でありたいと考えています。

囑託医 米田 勝紀

栄養士より



往還では“家庭的な雰囲気の中で楽しく食事をして頂く”を給食における基本方針としております。

その為に各ユニットでできるだけ皆さんが顔を合わせて、食事をして頂くようにしております。そして、以前は厨房で炊いたご飯を配膳していましたが今年に入ってから各ユニットの職員が昼食時のみ、炊飯を行っております。現在はご飯と軟飯を召し上がっている方の分だけですが炊き上がる前においては共同生活室全体に広がり、多くの方の食欲を誘うことが出来ていると感じられます。また、「炊き立ては温かくておいしい！」との利用者様の声も聞かれました。今後も、1人でも多くの方が今よりもっと食事を楽しんで頂くことが出来たらと強く思います。職員全員でこの思いを持って少しずつでも実現させていきたいです。

栄養士 宮本 奈由美



ワンポイント

今日から始める、簡単お口のケア
アドバイス

ぴったり合った入れ歯で表情も若々しく

せっかく入れ歯を持っていても「面倒くさいから」「合わないから」などの理由から、入れ歯をしなくなってしまう人も多いようです。けれども、入れ歯をはずしていると一見するとみな同じような顔に見えてしまう事があります。口の周りに独特なしわがより、口元がすぼまったいわゆる「梅干し顔」です。しかし、自分にきちんと合った入れ歯をしていれば、口元が引き締まり、表情が豊かになります。印象も若々しくなり、言葉もはっきりするので、他人との会話も楽しくなってきます。

入れ歯は、失った歯を補って物を食べられるようにすることだけが役割ではなく、その人の個性や人格を取り戻すための道具でもあるものです。

入れ歯は一生ものではなく、使っているうちにだんだんと合わなくなってくることもあります。特に入れ歯に不具合がなくても、半年から1年に一度くらいは、入れ歯の定期検診をするとういでしょう。



歯科衛生士 水谷敦子